

< 参考資料 >

2017年9月28日

東京電力ホールディングス株式会社

### 福島第一原子力発電所敷地内外における降下物中の放射性物質の核種分析結果

	採取地点	採取期間		試料濃度 (Bq / m <sup>2</sup> ) (半減期)		
		自	至	I - 131 (約8日)	Cs - 134 (約2年)	Cs - 137 (約30年)
福島第一原子力発電所	環境管理棟	2017年8月1日 13時30分	2017年9月1日 10時10分	ND	ND	57
福島第二原子力発電所	情報棟	2017年8月1日 13時50分	2017年9月1日 10時25分	ND	ND	ND

Bq/m<sup>2</sup>=MBq/km<sup>2</sup>

本分析における放射能濃度の検出限界値(I-131が約57Bq/m<sup>2</sup>、Cs-134が約8.5Bq/m<sup>2</sup>、Cs-137が約10Bq/m<sup>2</sup>)を下回る場合は、「ND」と記載。  
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。